

第 0 章 はじめに

浅川 伸一

2006 年 04 月 13 日

1 評価方法について

以下の A, B 方式のいずれか高い方の値をその学生の成績とする

A 方式： 課題提出状況、授業中の発言。各 50 点

B 方式： 中間テスト、期末テスト。各 50 点

1.1 履修希望者は

2006 年 04 月 14 日 23:59 までに psycstat2006@list.waseda.jp へ。

1. 自分の名前
2. 学生番号
3. 本科目の課題提出や連絡のために希望するメールアドレス

を書いて送信すること。

課題の一部としてグラフを添付する場合は pdf, jpg, bmp, eps ファイルとし excel ファイルをそのまま添付することはセキュリティの観点から禁止する。ちなみに Windows でも Macintosh でも、excel で作ったグラフを右クリックすると jpg 形式に変換して保存できる。

2 必要とされる技能、知識

一番大切なのはやる気である。自分の力で考え抜く態度を要求する。コンピュータの基礎知識。最低限メールの送受信。表計算ソフト、数式処理ソフトなどを習得していること。今現在習得していなくても早い機会に習得することをお薦めする。大学という一国の最高学府で学んでいる人間にとっては、グラフを描いてメールに添付することくらいできなければ、現代社会で生きていくことは難しい。苦手だからという理由で逃げていてはいけない。

事前の数学的知識は仮定しないように話すつもりである。ほとんどの数学的概念は訓練さえすれば習得可能である。

3 講義内容、目標

この科目では、記述統計、および簡単な統計的検定 statistical test までの基礎概念を習得することを目標とする。

統計的な予測とは、例えば次のような主張である。「ある予想を立てて、この予想と反対の予想が起こる確率が 5 % あるいは 1% 以下の場合、はじめの予想が正しいとする」というひねくれた論理に慣れる必要がある。